

# 高次脳機能障害者の自宅での家族の対応

～見守りが必要な患者の家族に焦点を当てて～

病院 看護部 3階病棟 宇津城歩美 神園尚子 宮坂良子

はじめに

高次脳機能障害者が退院後も混乱なく生活を継続していくためには、一番身近で生活を共にする家族の協力が重要である。家族が障害に対して理解を深め、混乱した気持ちを整理しながら現状を受け入れ、入院中からその患者に合った対応を習得することが必要となる。入院中、落ち着かず病棟内を動き回り、病棟外へ出ようとするため監視システムを使用し、退院後は在宅生活をしている高次脳機能障害者の症状に対する家族の対応を把握する目的で調査を行ったので報告する。

## I. 研究方法

対象者：平成19年4月1日から平成20年3月31日の間に入院し監視システムを使用。退院後は在宅生活をしている高次脳機能障害者の家族3名。

方法：対象者に研究者が1回30分程度の面接を行った。面接の内容から類似するものをまとめカテゴリー化し「高次脳機能障害者の症状と家族の対応」を概念図化する。

倫理的配慮：当院倫理審査委員会の審査を受け承認を得た。対象者へ本研究の目的と方法及び参加の自由、調査以外の目的で使用しないことを文書で説明し、同意を得た。

## II. 結果と考察

高次脳機能障害者の症状では2つのカテゴリー【日常生活を遂行できない】【危険回避ができない】に分類された。家族の対応では、8つのカテゴリー【規則正しい生活】【補償手段の活用】【物の管理】【外出時の工夫】【体調管理】【行動範囲の制限】【自己防止】【家族同士の援助方法の検討】に分類され、図1のように概念図化した。

家族は、【日常生活を遂行できない】という症状に対して、【規則正しい生活】や貼り紙やスケジュール表を使用して【補償手段の活用】ができるよう入院中に行っていたことを実際の生活の中で行っていた。また【危険回避ができない】という症状に対しては、入院中に落ち着かず迷うために監視システムを使用していたことにより、自宅でも迷ってしまうのではないかと不安に感じ、【一人で外に出ないための工夫】や【迷ったときのための工夫】をしながら【行動範囲の制限】をしていた。入院中に受けた指導や情報と本人の性格をもとに【家族同士の援助方法の検討】を行い、試行錯誤しながら本人に合った対応をしていた。

## III. 結論

1. 家族は【日常生活を遂行できない】【危険回避ができない】という症状に対して、入院中に受けた指導を選択肢の一つとして対応していた。

2. 患者に合った方法を【家族同士の援助方法の検討】をしながら予測をふまえた対応をしていた。

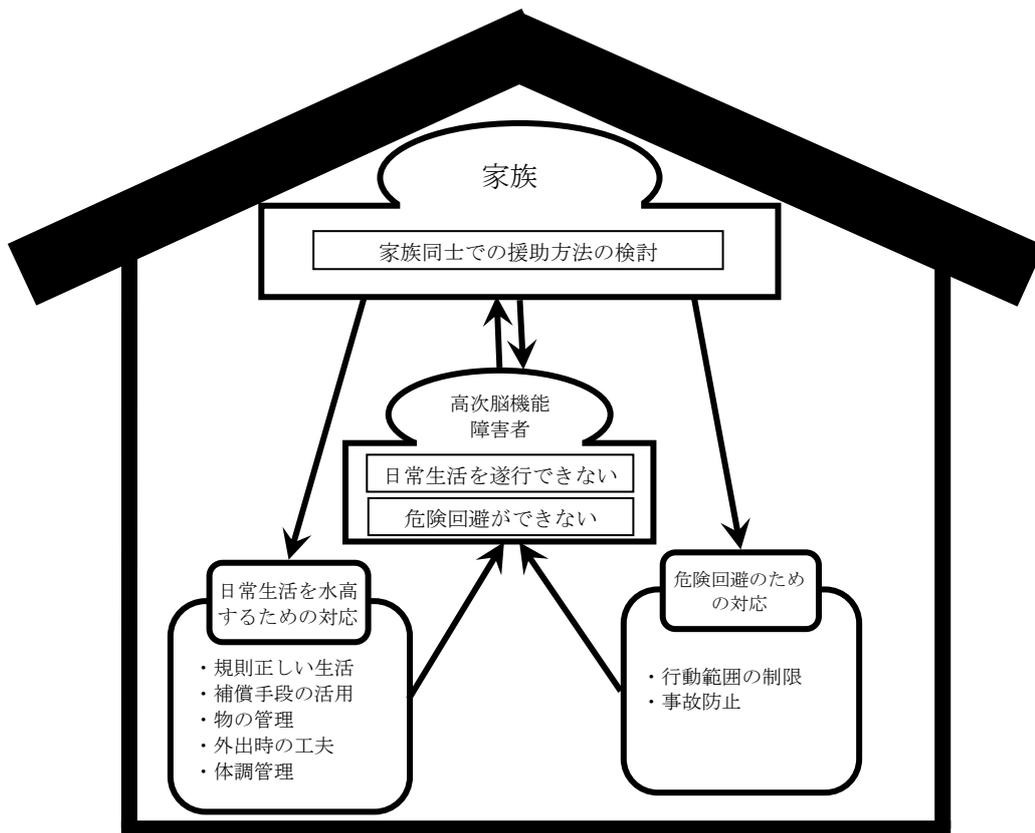


図1 高次脳機能障害者の症状と家族の対応の概念図

表1 対象者の概要

項目	A	B	C	
主介護者	続柄	妻	妻	妻
	年代	60歳代	50歳代	50歳代
	職業	主婦	自営業	会社員
家族	同居者	妻	妻、長男	妻、長男、長女
	性別	男	男	男
患者	年代	70歳代	60歳代	50歳代
	疾患名	くも膜下出血	くも膜下出血	ウェルニッケ脳症
	障害名		水頭症	脚気
			記憶障害	記憶障害
			注意障害	注意障害
		見当識障害	見当識障害	見当識障害
	全般的知的低下	全般的知的低下		
退院時 BI	45点	95点	100点	
退院時 FIM	59点/8点	78点/10点	88点/28点	
社会資源	精神手帳の有無	なし	申請中	なし
	サービスの有無	デイサービス	なし	デイサービス

表2 高次脳機能障害者の症状

カテゴリー(2)	サブカテゴリー(13)
日常生活を遂行できない	物の使い方がわからない (8)
	つじつまの合わないことを言う (2)
	落ちつきがない (1)
	ノートを使いこなせない (3)
	できごとを覚えていない (8)
	生活リズムの乱れ (3)
	2つのことを一度にできない (1)
	固執する (1)
	自ら行動を起こさない (3)
	薬の管理ができない (2)
体調管理ができない (3)	
危険回避ができない	場所がわからない (1)
	病識がない (1)

表3 家族の対応

カテゴリー(8)	サブカテゴリー(17)
規則正しい生活	生活リズムを整える工夫 (3)
補償手段の活用	予定を忘れないための工夫 (4)
	行動を確認するための工夫 (3)
	人が来たことを忘れないための工夫(1)
物の管理	義歯の取り扱い (1)
	家の鍵の扱い (2)
外出時の工夫	金銭の管理に対する工夫 (3)
	一人で受診するときの工夫 (5)
体調管理	内服を促す工夫 (3)
	便秘予防 (1)
行動範囲の制限	一人で外に出ないための工夫 (5)
	迷ったときのための工夫 (2)
	一人でいるときの安全確認の仕方 (2)
事故防止	危険物やたばこ・ガスの扱い (3)
	運転意欲を起こさせない工夫 (1)
	電話の取り扱い (1)
家族同士の援助方法の検討	家族内での話し合い (2)